

日本チェーンストア協会の 環境問題の取組み

2019. 8. 7

第1回おおさかプラスチック対策推進ネットワーク会議

地球温暖化防止のための目標

1997年1月に「チェーンストア業界の環境保全自主的行動計画」を定め、協会と会員企業が一体となって環境問題により積極的に取り組むこととし、次の3原則のもとに取り組みました。

基本 3 原則

- 自らの問題として、できることから着実に実行する!
- しなければならないことを明確にした上で、責任をもって取り組む!
- 産業界・行政・お客様との連携で進める!

地球温暖化防止のための目標

地球温暖化の防止

- エネルギー消費原単位による電力使用量の削減
- 環境調和型・省エネ型商品の積極的な調達、開発、メーカーなどへの働きかけ
- 省エネ型店舗施設づくり、エネルギー効率向上システムの導入
- 物流の効率化、ハンガー納品などによる物流資材削減、アイドリングストップ運動の徹底
- フロン類の排出抑制・漏えい防止・回収の徹底、低GWP冷媒への転換の促進
- 省エネ型ライフスタイルの提案

など

循環型経済社会の構築

- 店舗・事務所からの産業廃棄物の削減
- レジ袋・トレイなどの容器包装の削減、環境負荷の少ない材質への改善
- 再生紙使用の推進
- 容器包装リサイクル法の遵守と店舗での資源回収の推進
- 食品リサイクル法の遵守と食品ロスの削減
- 省資源型ライフスタイルの提案

など

3

循環型経済社会の構築に関する取組み レジ袋・トレイなどの容器包装の削減

2007年3月「マイバッグでお買物～レジ袋一緒に減らしましょう！」キャンペーンを展開し、協会オリジナルマイバッグの作成や、レジ袋削減啓発ポスター・レジ袋不要カードを会員企業に配布し、大々的にマイバッグ持参運動を展開しました。



レジ袋削減啓発ポスター



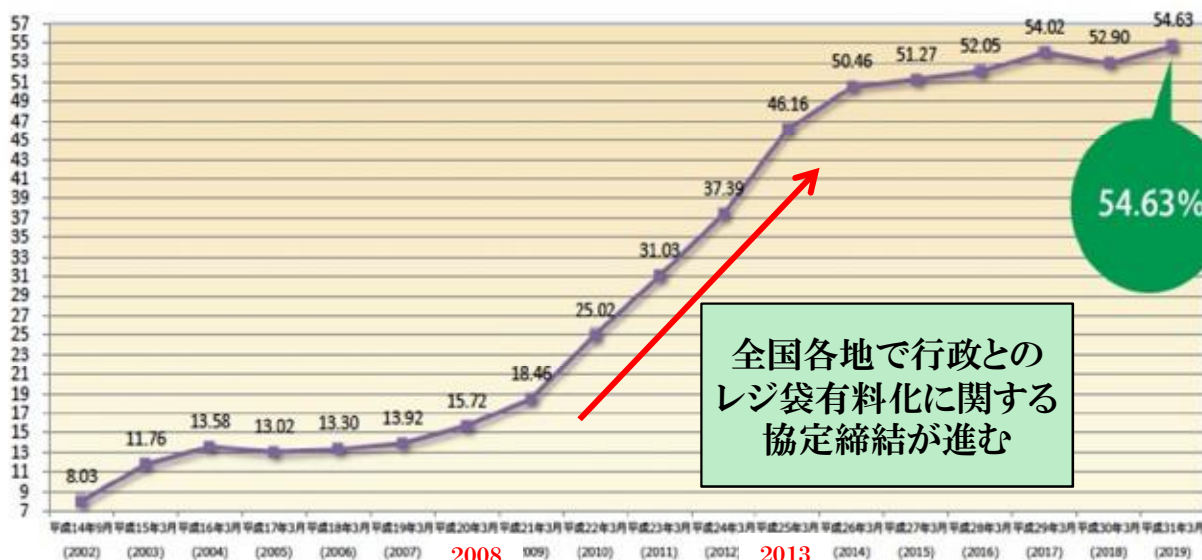
レジ袋不要カード

- 強度を保ちながらレジ袋を薄くする
- ポスターや店内放送、レジでの声かけなどを通じてレジ袋辞退・マイバッグ持参を呼びかける
- レジ袋を辞退されたお客様にポイントなどをサービスしたり、レジで現金値引きを行う
- その地域の行政の施策やお客様の理解に基づき、レジ袋の無料配布を中止する

4

循環型経済社会の構築に関する取組み レジ袋・トレイなどの容器包装の削減

レジ袋辞退率の推移



循環型経済社会の構築に関する取組み レジ袋・トレイなどの容器包装の削減

レジ袋の無料配布中止の実施状況

実施店舗数32社 2,615店舗 (42都道府県)

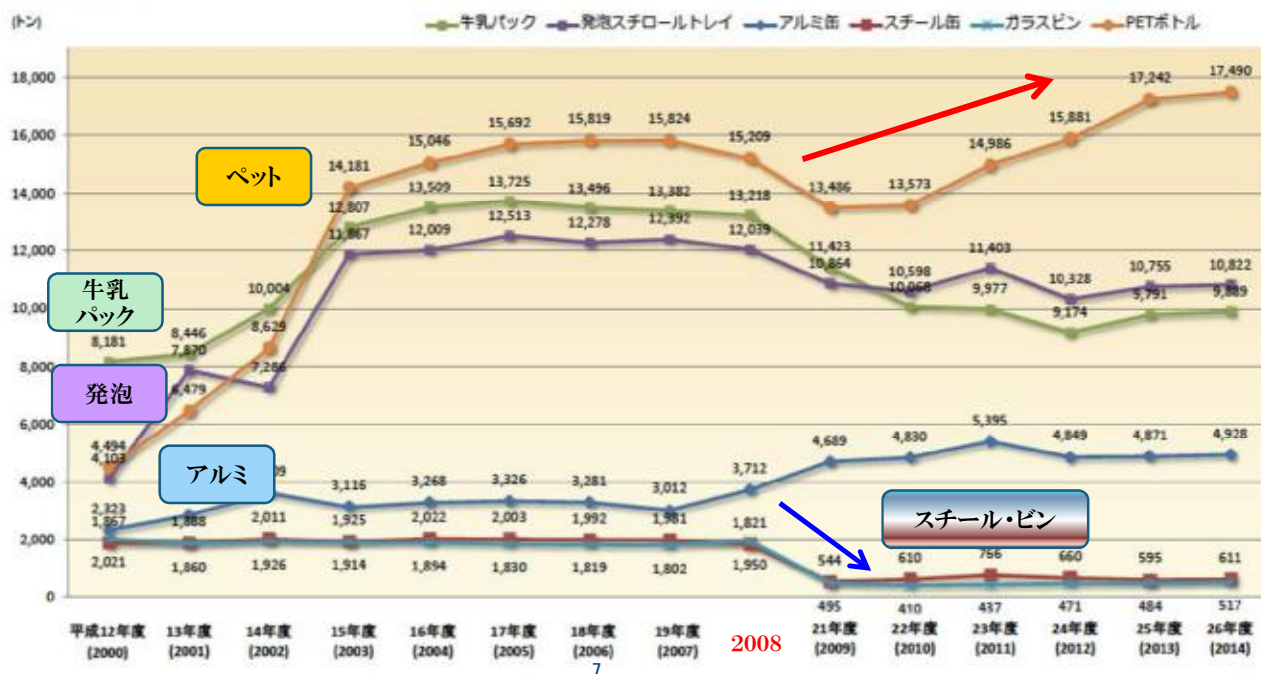
・平成31年3月末時点 ※会員企業直営店舗での実施

北海道	96店舗	東京都	151店舗	滋賀県	108店舗	愛媛県	11店舗
青森県	10店舗	神奈川県	91店舗	京都府	51店舗	高知県	4店舗
岩手県	7店舗	新潟県	17店舗	大阪府	100店舗	福岡県	35店舗
宮城県	73店舗	富山県	25店舗	兵庫県	121店舗	佐賀県	1店舗
秋田県	7店舗	石川県	33店舗	奈良県	17店舗	熊本県	16店舗
山形県	28店舗	福井県	33店舗	和歌山県	21店舗	大分県	40店舗
福島県	89店舗	山梨県	24店舗	鳥取県	5店舗		
茨城県	193店舗	長野県	26店舗	島根県	13店舗		
栃木県	34店舗	岐阜県	112店舗	岡山県	5店舗		
群馬県	7店舗	静岡県	138店舗	広島県	93店舗		
埼玉県	125店舗	愛知県	276店舗	山口県	150店舗		
千葉県	107店舗	三重県	118店舗	香川県	4店舗		



循環型経済社会の構築に関する取組み 店舗での資源回収の推進

店頭回収量の推移



循環型経済社会の構築に関する取組み 食品ロスの削減

食品リサイクルの推進

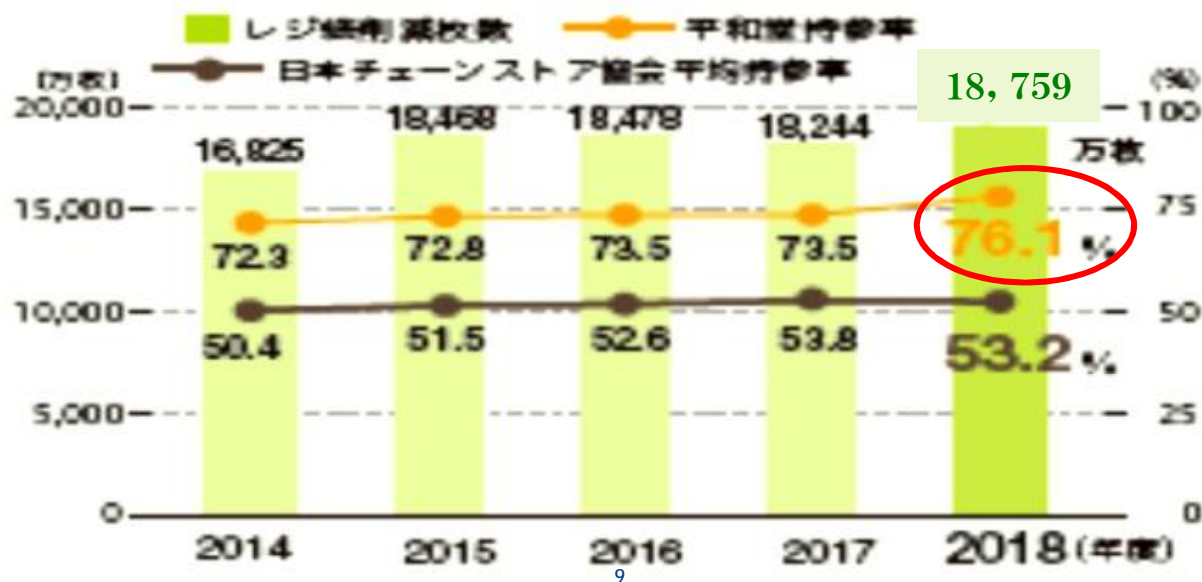
- 野菜の切れはし ⇒ 堆肥 等
- 魚のあら(はらわた・骨等) ⇒ 堆肥・飼料 等
- 廃食油 ⇒ 飼料・バイオディーゼル・油かす(肥料) 等

※店舗から出た生ゴミを堆肥・肥料等に精製し、提携農家に提供して、トマトやナス等の野菜を栽培してもらい、店舗で販売する「循環エコ野菜」(食品リサイクルループ)の取組みをしている企業もあります。

会員企業の取組み(平和堂) レジ袋・トレイなどの容器包装の削減

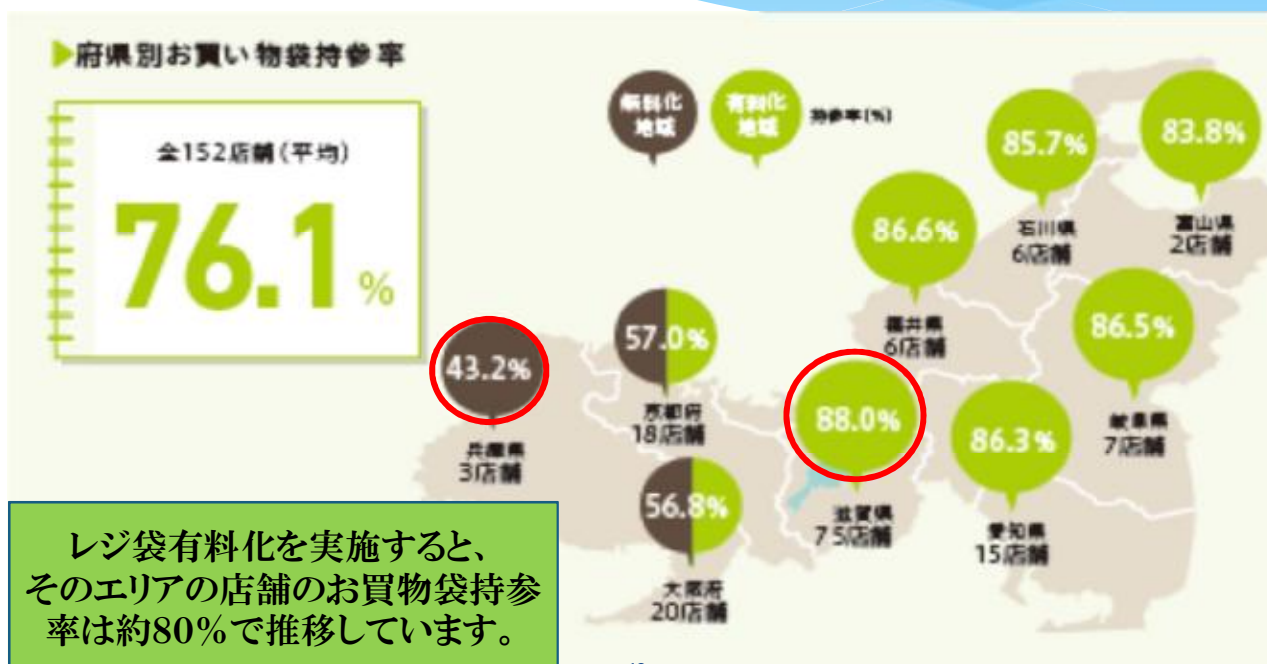
お買物袋持参率とレジ袋削減量の推移

▶お買い物袋持参率とレジ袋削減量の推移



会員企業の取組み(平和堂) レジ袋・トレイなどの容器包装の削減

府県別お買物袋持参率



会員企業の取組み(平和堂) 店舗での資源回収の推進

廃棄物の発生量とリサイクル量の推移



11

会員企業の取組み(平和堂) 店舗での資源回収の推進

店頭回収量の推移(牛乳パック・ペットボトル・食品トレイ)



12

会員企業の取組み(平和堂) 店舗での資源回収の推進

店頭回収量をあげる取組み例



店頭回収ボックス



リサイクルステーション

会員企業の取組み(平和堂) 店舗での資源回収の推進

店頭回収量をあげる取組み例



会員企業の取組み(平和堂) 店舗での資源回収の推進

店頭回収量をあげる取組み例

リサイクルステーションでは、ペットボトル・アルミ缶(スチール缶)以外に古紙(新聞・雑誌・雑紙)の回収も実施しています。

専用カードを発行し、ポイントがたまると自社商品券(500円券)と交換し、お買物ついでに持参してもらうように啓発しています。



15

会員企業の取組み(平和堂) 食品ロスの削減

食品廃棄物リサイクル量の推移



16

会員企業の取組み(平和堂) 食品ロスの削減

循環エコ野菜の仕組み



今後の課題

会員各社(大企業)の取組み

1.7&i HD

「環境宣言(GREEN CHALLENGE 2050)」

☆ 2030年目標 プラスチック製レジ袋使用量ゼロ

☆ オリジナル商品で使用する容器(バイオマス・生分解性・紙等)

2030年目標 50% 2050年目標 100%

今後の課題

会員各社(大企業)の取組み

2. イオン

グループ企業内において、レジ袋有料化店舗
2020年2月に約800店舗増の2,500店舗に拡大する
計画

すべての会員企業に同様の取組みを
実践してもらうにはハードルが高い

19

今後の課題

出来るところから実践していく

- ☆ リサイクル回収ボックスの利用率の向上
- ☆ 店頭回収の拡大
- ☆ 衣料用サミット ポリ袋から紙袋への転換
- ☆ 有料レジ袋の環境配慮型素材への移行
- ☆ 会員各社への情報共有

20